

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立すながわ高等支援学校・大阪府立泉南支援学校
取り組む課題	生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	1 アンケートにおける肯定的割合の向上 2 「主体的・対話的で深い学び」を実践する教員の育成と増加 3 アクティブ・ラーニングルームの使用率向上 4 併設校同士の交流授業、共生推進教室設置校との遠隔合同授業を実施し、交流・連携を強化 5 地域連携と外部への情報の発信
計画名	『Let's Be Active!!』 ～学校を超えてつながる夢のプロジェクト～

2. 事業目標及び本年度の取り組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>【大阪府立すながわ高等支援学校】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等支援学校教員としての専門性の確立 <ol style="list-style-type: none"> (2) 短焦点プロジェクターや ICT 機器の積極的な活用による授業力の向上 3 地域との連携・協同による、知的障がい生徒の就労支援の拠点校としての力の発揮 <ol style="list-style-type: none"> (2) 就労支援に関する支援教育のセンター的機能の発揮 (4) 学校、福祉、企業等とのさらなるつながりの連携強化 	<p>【大阪府立泉南支援学校】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 すべての教職員が児童・生徒の発達を保証するために一人ひとりの合理的配慮を明確にし、知的障がい児教育に対する自らの「専門性」を維持・向上させる学校。（専門性の高い学校づくり） <ol style="list-style-type: none"> (1) ②教材・教具、ICT など教育環境をすながわ高等支援学校と連携し充実をめざす。 (3) 新学習指導要領に準拠した（ICT 教育、プログラミング教育、SST、国際理解教育等）新しい時代に対応した取り組みを通して授業改善を図る。 (5) 泉南地域全体の支援教育力の向上のため、②地域への研修や教材研究の公開をととして教員の相談支援力の向上を図る。
事業目標	<p>新学習指導要領に謳われている、主体的・対話的で深い学びを実践し、児童生徒の主体的に学習に取り組む態度と思考力・判断力・表現力を養うため、すながわ高等支援学校と泉南支援学校の共用教室である音楽室をアクティブ・ラーニングルームとして整備し、以下の取り組みを行う。</p> <p>「合同」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画をすながわ高等支援学校と泉南支援学校との合同提案とし、アクティブ・ラーニングルームを両校が使用可能なスペースとする。この教室を拠点として、音楽科のみならず、両校の様々な教科でアクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業を実践し、共有することで、支援教育における実践例を積み重ね、教員の指導力・授業力の向上をめざす。 ・ すながわ高等支援学校と泉南支援学校との交流授業、すながわ高等支援学校本校と共生推進教室設置校（久米田高等学校、信太高等学校）との遠隔合同授業を通して、ともに学び、ともに育つ教育を実践する。 <p>「活用」</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ すながわ高等支援学校においては、アクティブ・ラーニンググループでグループワーク、プレゼンテーションなど生徒が自ら発信する授業を多く実施し、表現力を高め、社会的自立につなげる。 ・ 泉南支援学校においては、小学部・中学部・高等部それぞれがアクティブ・ラーニンググループで授業を行い、様々な障がいの程度、幅広い年齢の児童生徒が活用できる場とする。 ・ 現在音楽室の使用率は両校で30%程度である。整備後、上記の取組みを通して両校で使用率100%増をめざす。 <p>「発信」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共に地域のセンター校として、両校で積み重ねたアクティブ・ラーニングの実践をホームページ、研究授業を通じ、外部に積極的に発信していく。
<p>整備した設備・物品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スタックテーブル ・ スタッキングチェア ・ ミーティングテーブル ・ HDMI 分配器 ・ 遮光カーテン ・ プロジェクター台 ・ ロボット掃除機 ・ 床面タイルカーペット張替修理 ・ インタラクティブ機能付き短焦点プロジェクター (設置調整費・付属品含む) ・ 可動式プロジェクター ・ 壁面改修工事 (ホワイトボード設置・電気配線工事)
<p>取組みの主担・実施者</p>	<p>主担者： 将来構想会議（首席…取りまとめを担当） すながわ泉南合同プロジェクトチーム…教室活用に関する提案・共有・実践を担当 ICT委員会…ICT機器使用のサポートを担当</p> <p>実施者： 全教員</p>
<p>本年度の取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブ・ラーニンググループの機能を生かした活用研修会の実施および指導計画の策定 ⇒ 活用研修会を両校でそれぞれ1回ずつ実施し、指導計画の策定を行った。（すながわ・泉南） ・ アクティブ・ラーニンググループを活用した遠隔合同授業を実施 ⇒ 共生推進教室との遠隔合同授業は実施できなかった。高大連携として、共生推進教室生を含むすながわ高等支援学校の生徒と大阪体育大学の大学生との遠隔合同授業を12月に1回実施した。（すながわ） ・ 併設校同士の交流授業を実施 ⇒ 12/18に音楽の授業で交流授業を実施した。（すながわ・泉南） ・ 実践報告会、研究授業の実施 ⇒ 10/29に関西教育ICT展にて実践報告を行った。12/16にアクティブ・ラーニンググループを活用した研究授業を実施、 ⇒ 11/24～11/30に公開授業を実施した。（すながわ） ・ 併設校間で相互に授業見学会、研究協議を実施 ⇒ 公開授業週間に相互の授業見学会、公開交流授業後に合同PTによる研究協議を実施した。（すながわ・泉南） ・ 授業アンケートによる生徒の理解度および学習参加度の確認とデータ分析の実施 ⇒ 随時、アクティブ・ラーニンググループ使用后アンケートを実施し、年度末に分析を行った。（すながわ・泉南） ・ アクティブ・ラーニング勉強会の実施 ⇒ 12/18の併設校との交流授業を受けて実施した。（すながわ・泉南） ⇒ 12月職員会議にて交流授業報告と機器接続方法の研修を行った。（泉南） ⇒ 学校運営協議会で7月計画・進捗状況を報告し1月に活用事例報告を行った。（泉南） ・ ホームページにて実践事例の発信 ⇒ 1月に音楽科での実践事例を学校ホームページにて公開した。（すながわ） ・ アクティブ・ラーニンググループ活用度経過調査の実施

	<p>⇒ 両校のアクティブ・ラーニンググループ使用回数の集計を行った。（すながわ・泉南）</p> <p>・ 次年度に向けた活用方法の検討</p> <p>⇒ 次年度の利用についての研修会を 3/25 に実施する。（泉南）</p>
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒へアクティブ・ラーニンググループ使用後のアンケート（4段階評価）を行い、肯定的評価を 70%以上にする。 2 「主体的・対話的で深い学び」を実践する教員の割合を 80%以上にする。 3 音楽の授業を含む他の教科等のアクティブ・ラーニンググループの年間使用回数を R1 年度比 20%増にする。 4 <ul style="list-style-type: none"> ・ 併設校同士、相互の授業見学会および研究協議を 1 回以上実施する。 ・ 併設校同士の交流授業を 1 回以上実施する。 ・ アクティブ・ラーニンググループを活用した共生推進教室設置校との遠隔合同授業を 1 回以上行う。 5 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 機器を活用したアクティブ・ラーニングの実践事例をホームページにて 1 例以上公開する。 ・ アクティブ・ラーニンググループを活用した実践報告会と研究授業を 2 回以上行う。
<p>自己評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 両校の児童生徒を対象にアクティブ・ラーニンググループ使用後アンケート（4段階評価）を実施した結果、肯定的評価（3＋4）が 88%となった。……………（◎） 2 アンケートを実施した結果、「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」の視点を取り入れた授業を行ったことがある教員は、全体の 79%であった。…（△） 3 音楽の授業を含む他の教科等のアクティブ・ラーニンググループ年間使用回数は R1 年度比 38%増となった。……………（◎） 4 <ul style="list-style-type: none"> ・ 併設校同士、相互の授業見学会および研究協議を 1 回実施した。……………（◎） ・ 併設校同士の交流授業（音楽）を 1 回実施した。……………（○） ・ 共生推進教室との遠隔合同授業は実施できなかった。高大連携として、共生推進教室生を含むすながわ高等支援学校の生徒と大阪体育大学の学生との交流学習を 2 回実施した。……………（△） 5 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 機器を活用したアクティブ・ラーニングの実践事例（音楽）をホームページにて 1 件公開した。……………（○） ・ アクティブ・ラーニンググループの活用研修会を両校でそれぞれ 1 回ずつ実施、アクティブ・ラーニンググループを活用した研究授業（保健体育）を 1 回実施、公開授業を 6 教科（清掃、進路、美術、国語、音楽、情報）で計 7 時間実施した。……………（○）
<p>次年度に向けて</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒へアクティブ・ラーニンググループ使用後アンケート（4段階評価）を行い、肯定的評価を 85%以上にする。 2 「主体的・対話的で深い学び」を実践する教員の割合を 90%以上にする。 3 音楽の授業を含む他の教科等のアクティブ・ラーニンググループの年間使用回数を R1 年度比 50%増にする。 4 <ul style="list-style-type: none"> ・ 併設校同士、相互の授業見学会および研究協議を 2 回以上実施する。 ・ 併設校同士の交流授業を 1 回以上実施する。 ・ アクティブ・ラーニンググループを活用し、共生推進教室設置校や他大学との遠隔合同授業を 2 回以上行う。 5 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 機器を活用したアクティブ・ラーニングの実践事例をホームページにて 3 例以上公開する。 ・ アクティブ・ラーニンググループを活用した実践報告会と研究授業を 4 回以上行う。

3. 事業費報告

今年度事業費総額	3,830,090	円
----------	------------------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
1 報償費	1				
	2				
	3				
					小計
2 旅費	1				
	2				
	3				
					小計
3 消耗需用費	1	スタックテーブル	¥17,380	38	¥660,440
	2	スタッキングチェア	¥7,810	38	¥296,780
	3	ミーティングテーブル	¥19,195	4	¥76,780
	4	プロジェクター	¥86,240	1	¥86,240
	5	HDMI分配器	¥15,400	1	¥15,400
	6	遮光カーテン	¥68,640	1	¥68,640
	7	プロジェクター台	¥25,300	8	¥202,400
	8	ロボット掃除機	¥83,600	1	¥83,600
					小計
4 維持需用費	1	床面タイルカーペット張替修理	¥367,400	1	¥367,400
	2				
	3				
					小計
5 役務費	1				
	2				
	3				
					小計
6 委託料	1				
	2				
	3				
					小計
7 使用料 及び賃借料	1				
	2				
	3				
					小計
8 備品購入費	1	インタラクティブ機能付き短焦点プロジェクター（設置調整費・付属品含む）	¥211,750	3	¥635,250
	2	可動式プロジェクター	¥118,580	2	¥237,160
					小計
9 工事請負費	1	壁面改修工事 （ホワイトボード設置・電気配線工事）	¥1,100,000	1	¥1,100,000
	2				
	3				
					小計
10 負担金・補助 及び交付金	1				
	2				
	3				
					小計
				合計	¥3,830,090